

SEが語る！

## ERP更改の成功率を高める連携計画 ～事前対策でトラブル回避する実践手法～

パナソニック デジタル株式会社





# 下垣内 達也 Shimogaito Tatsuya

---

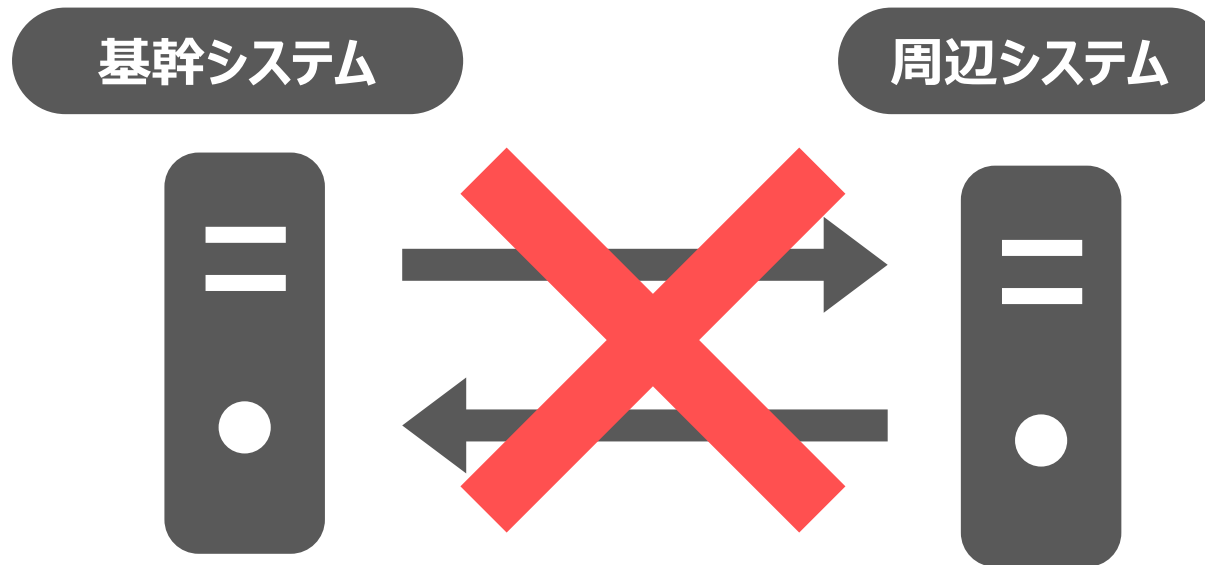
**社名：パナソニック デジタル株式会社**

**所属：インテグレーションソリューション部**

**ミッション：データ連携基盤の構築  
(プロジェクトマネージャー)**

システム導入の成功率は約 5 割程度(※1)

メインのERP以外に意外な落とし穴が…



※1 参考：日経コンピュータ『ITプロジェクト実態調査 2018』

Q なぜERP更改時にデータ連携部分で問題が発生するのか？

A 計画時に軽視されがちな部分だから

- コアとなるERP刷新の計画に時間とリソースを取られる
- データ連携を専門にしている人員が計画に携わっていない
- そもそも計画に使用できるリソースが少ない
- 連携の複雑さが過小評価される

『ERPの計画に準ずる』とだけ記載されているケースも…



コスト（人・時間・金）をかければできる！

計画時にデータ連携部分にまでコストを割けないのが実情…  
軽視するとERP刷新プロジェクトそのものの失敗につながるリスク



重要なポイントを抑えて  
低コストで計画を立案しましょう！



情シスは計画時から仕事が山積み……

01

データ連携開発を任せ  
るベンダの選定について

02

ERP更改時のデータ連  
携刷新の3つの視点  
～「平面・立体・連続  
性」で捉える～

03

プロジェクト中によくある  
トラブルと対策

04

パナソニック デジタルの  
連携における取組


計画を立てる前に…

Q データ連携部分もERPベンダに依頼すべき？ EAI専門のベンダに依頼すべき？

A

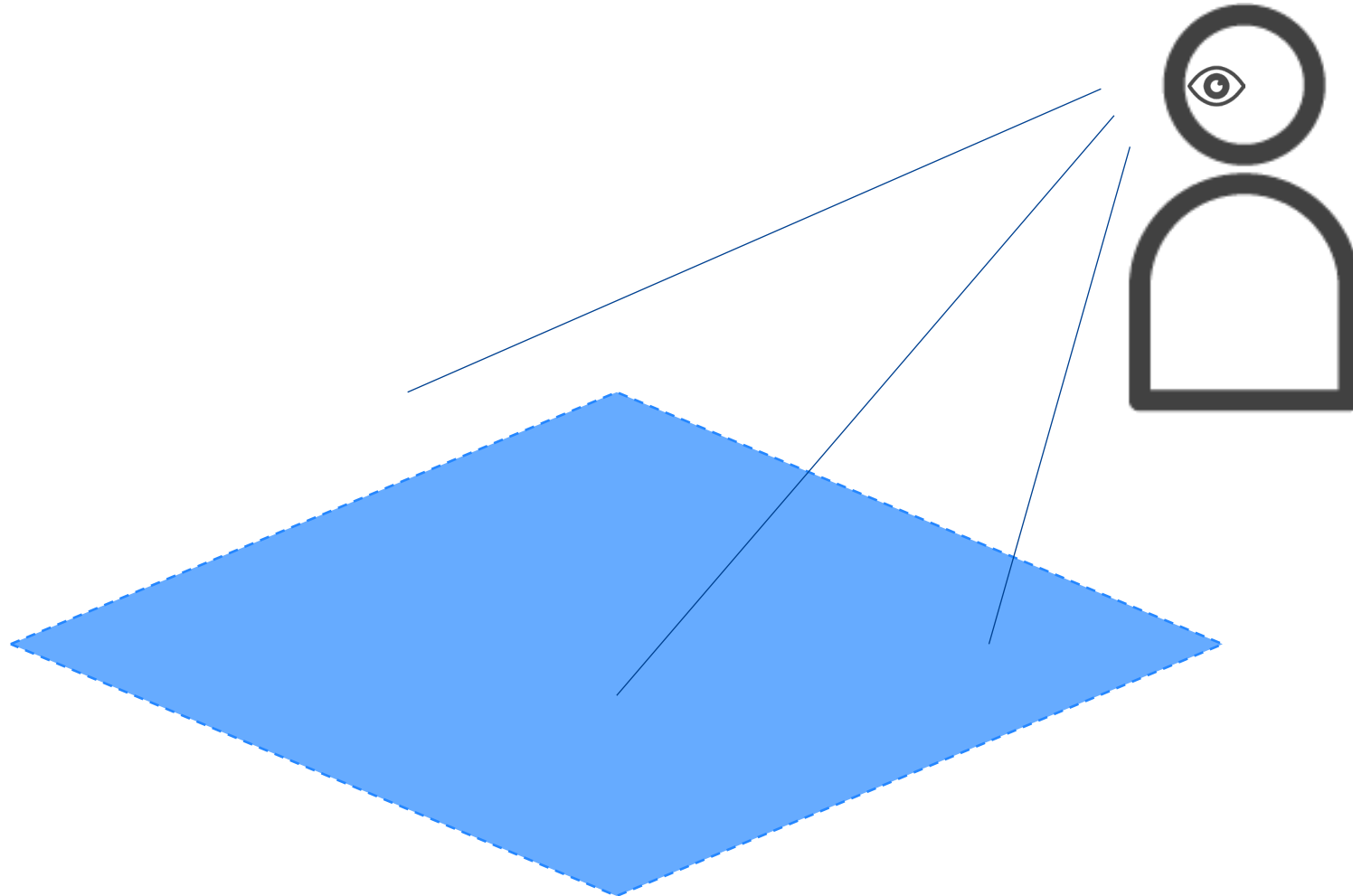
どちらでもOKです。  
ただし、それぞれのメリット・デメリットを把握して依頼先を決めましょう。

	メリット	デメリット
ERPベンダに依頼	<ul style="list-style-type: none"><li>•ERP側のデータ内容に詳しい</li><li>•ベンダ間のやり取りをブリッジしなくて済む</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>•見積が高くなる傾向にある</li><li>•EAIの専門性が低い</li></ul>
EAIベンダに依頼	<ul style="list-style-type: none"><li>•見積が安くなる傾向にある</li><li>•より精緻な計画（見積）が出てくる</li><li>•テンプレートなどコスト削減につながるノウハウを持っている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>•ERP側のデータ内容に疎い</li><li>•ベンダ間のやり取りをブリッジする必要がある</li></ul>

The background features a white space with several thin, light gray lines forming a grid of triangles. Two large triangular areas are filled with blue. The upper triangle is a solid, vibrant blue. The lower triangle is a darker blue and contains a glowing network of white dots connected by thin white lines, resembling a data or communication network. The text is centered in the white space between these two blue triangles.

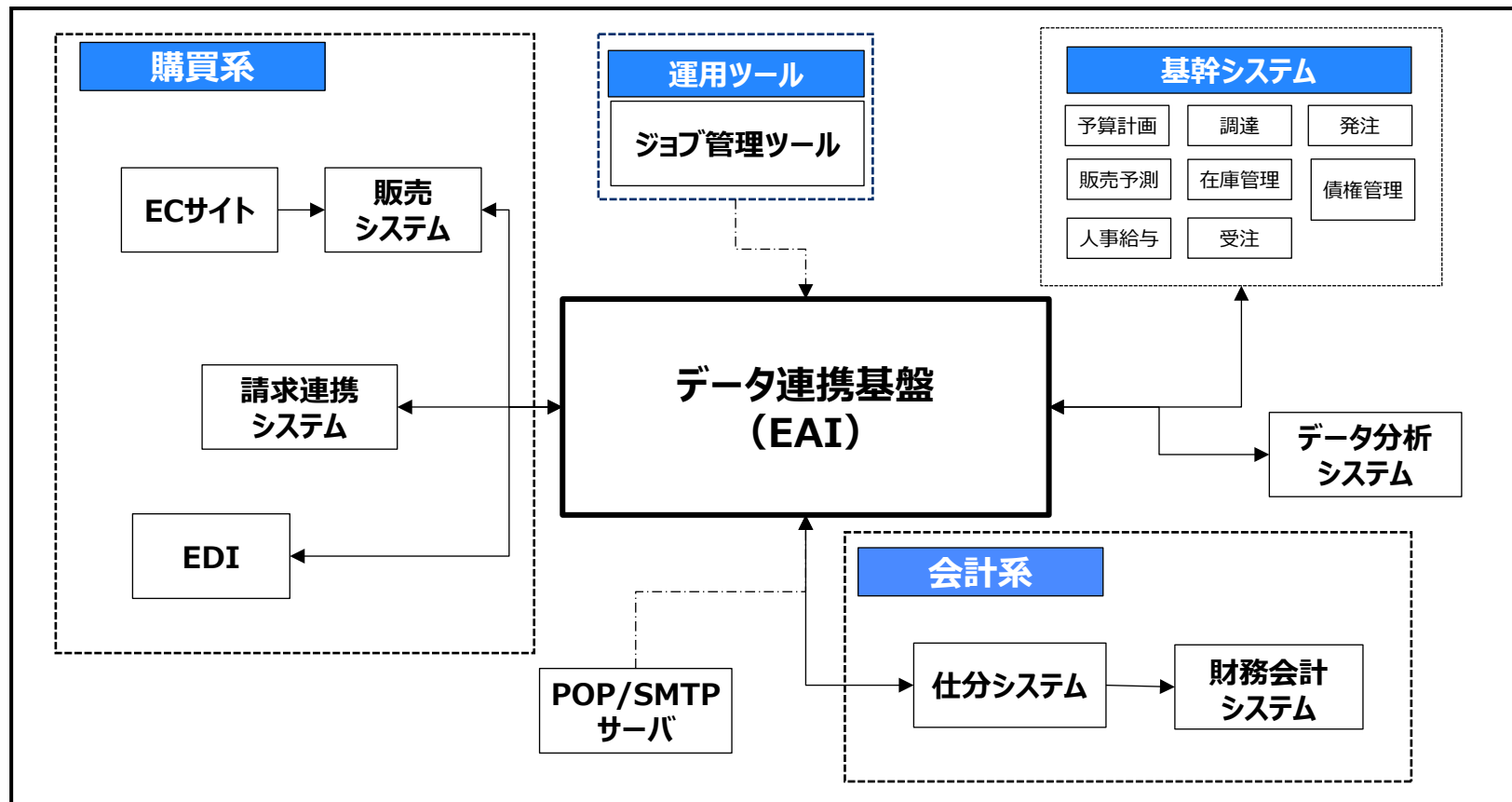
**ERP更改時のデータ連携刷新の3つの視点**  
**～「平面・立体・連続性」で捉える～**

システム全体を俯瞰で見ましょう

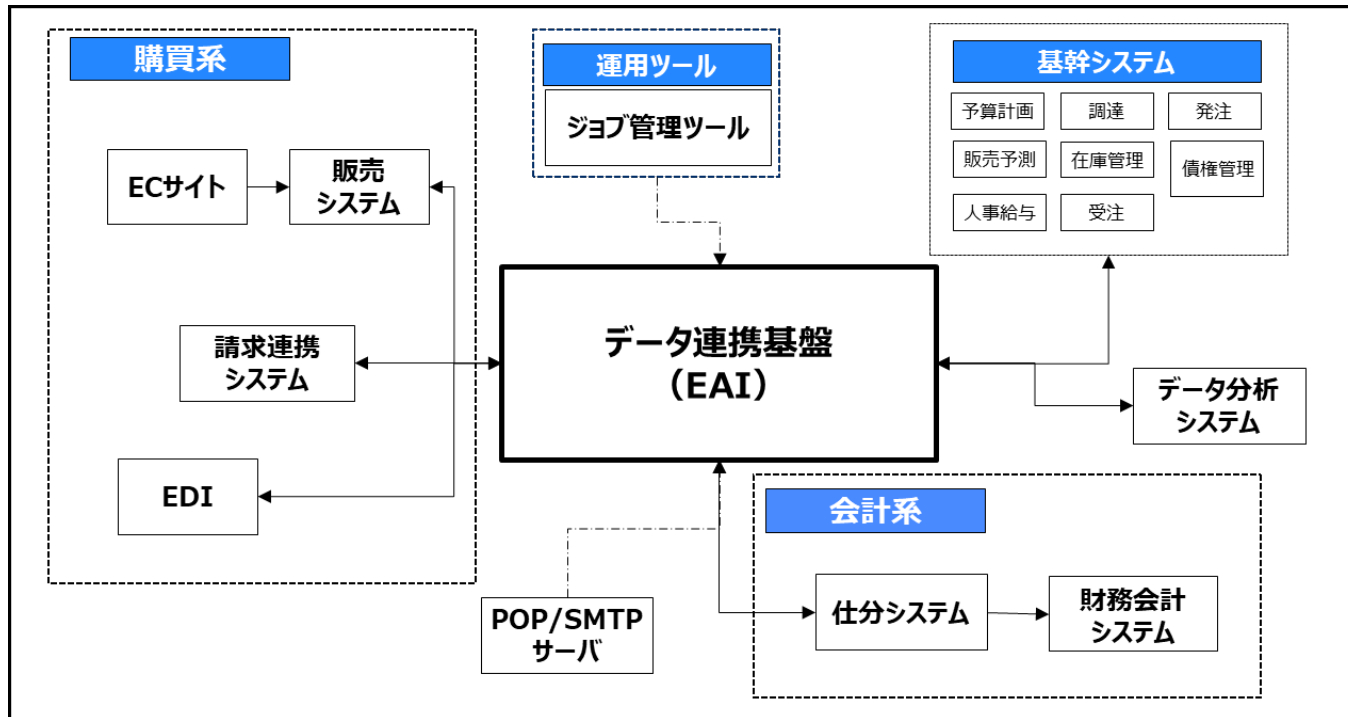


## システム連携図を作成（点検）しましょう

システム連携図とは、システムの構成要素間の関係を視覚的に表現する図



## システム連携図のポイント



### ポイント

- 関連する全てのシステムが記載されていること
- 連携基盤を中央に配置すること
- 詳細まで書き込み過ぎないこと
- ERPを介さない連携も記載する
- メールサーバや運用ツールなど、データ連携がないシステムについても記載すること

## IF（インターフェース）一覧を作成しましょう

IF（インターフェース）一覧とは、異なるシステム間のインターフェースを整理したドキュメント

■IF一覧										
No.	データ名称	連携元システム	連携先システム	編集仕様書	連携元ファイル名称	連携元仕様書	連携プロトコル	連携元項目数	連携元形式	ピーク時の連携データ件数
1	出荷取込	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様書A	ABC.csv	仕様書A	SFTP	50	固定長	110件/月 1320/年
2	受注取込	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様書B	BCD.csv	仕様書B	SFTP	50	固定長	1200件/月 120000件/年
3	出荷予定連携	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様書C	CDE.csv	仕様書C	EDIアダプタ	37	固定長	1200件/月 120000件/年
4	出荷実績連携	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様書D	DEF.csv	仕様書D	EDIアダプタ	27	固定長	1200件/月 120000件/年
5	得意先マスタ連携	会計システム	新基幹システム	編集仕様書E	EFG.csv	仕様書E	ファイルサーバ経由	50	固定長	1000件/月 10000/年

## IF（インターフェース）一覧を作成しましょう

■ I/F一覧

No.	データ名称	連携元システム	連携先システム	編集仕様書	連携元ファイル名称
1	出荷取込	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様A	ABC.csv
2	受注取込	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様B	BCD.csv
3	出荷予定連携	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様C	CDE.csv
4	出荷実績連携	EDIシステム	新基幹システム	編集仕様D	DEF.csv
5	得意先マス連携	会計システム	新基幹システム	編集仕様E	EFG.csv
6	発注データ連携	会計システム	新基幹システム	編集仕様F	ABC.csv

### ポイント

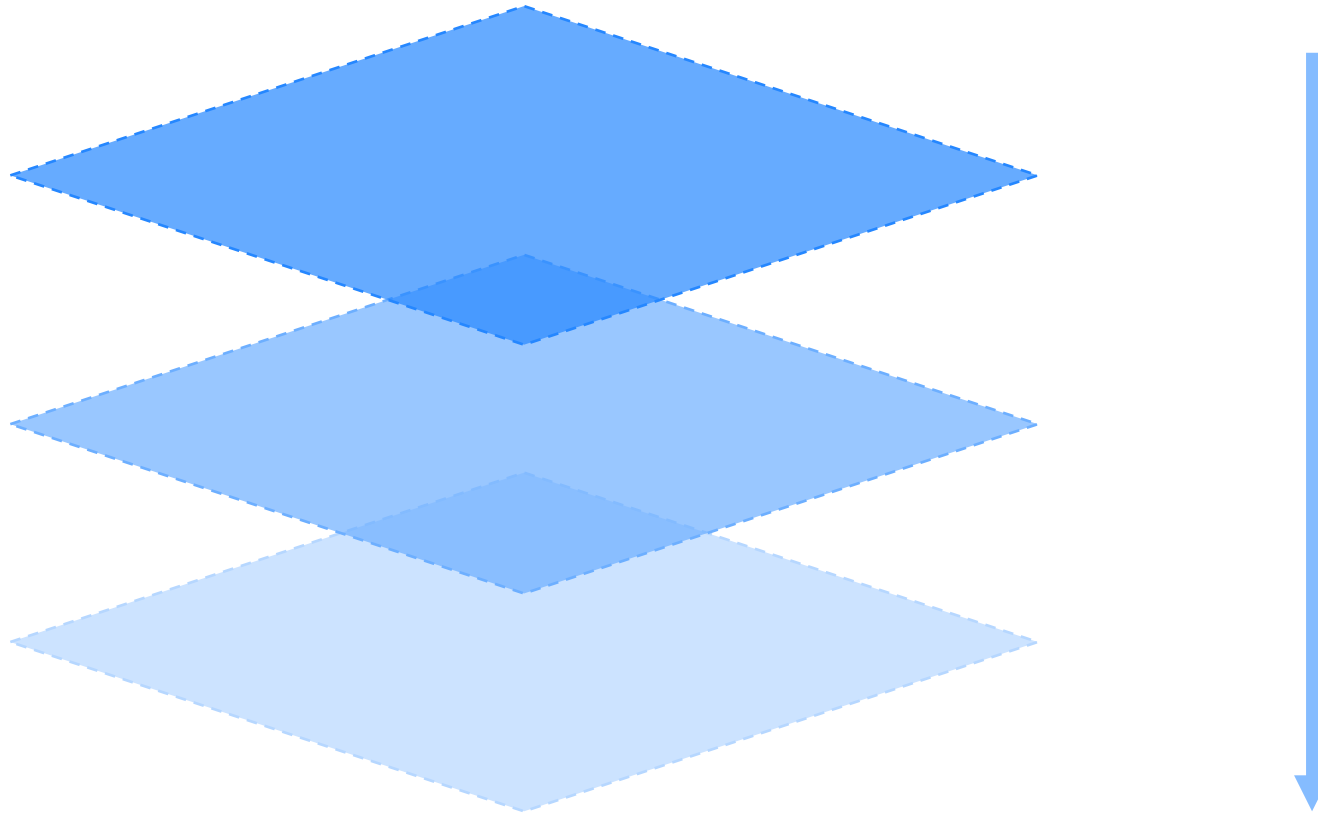
- 下記項目を記載すること。

記載する項目	
マスト	連携の名称、連携元システム名、連携先システム名、プロトコル、編集仕様書などIFごとの設計書のリンク、ピーク時の連携データ件数
ベター	ファイル連携の場合 ファイル名称、データ形式（CSV・TSV）、項目数、文字コード、トリガーファイル
	DBの場合 テーブル名、テーブル定義書のリンク

- IF（行）の漏れがないこと

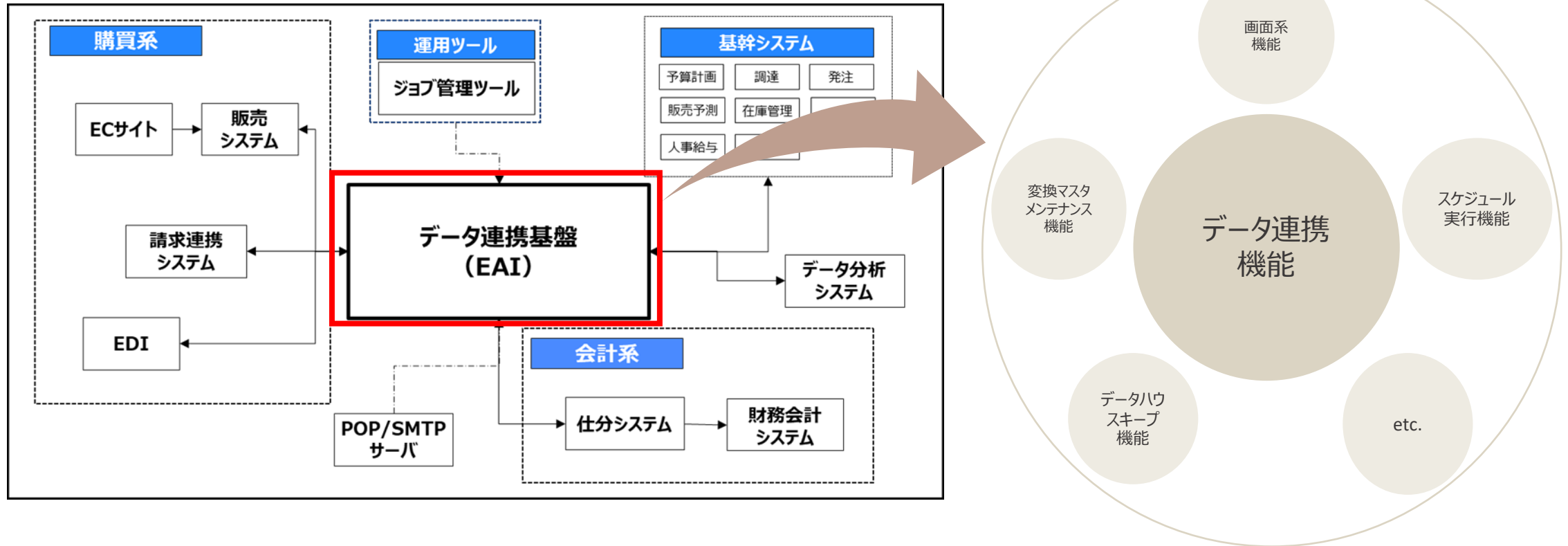
平面で捉えた要素を深堀していきましょう

---



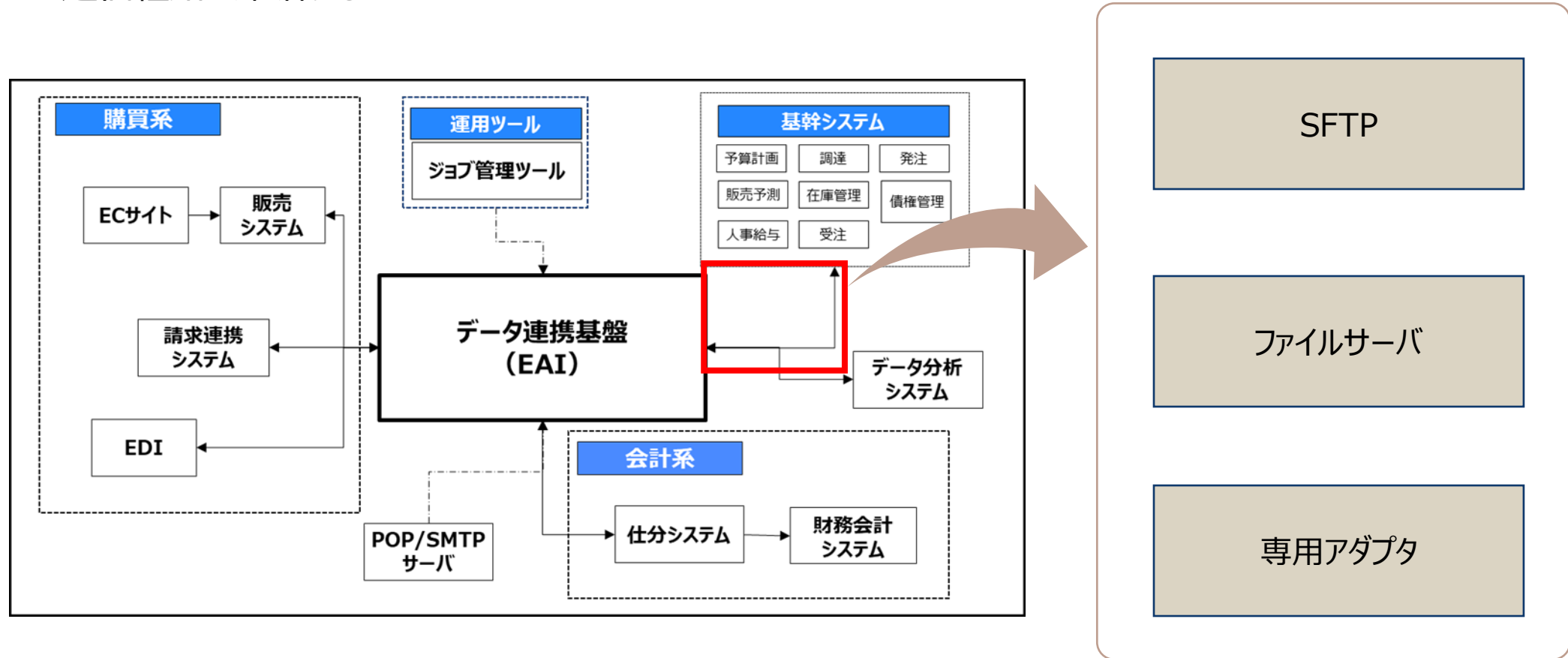
## 平面で捉えた要素を深堀していきましょう

- 連携基盤を深堀すると…



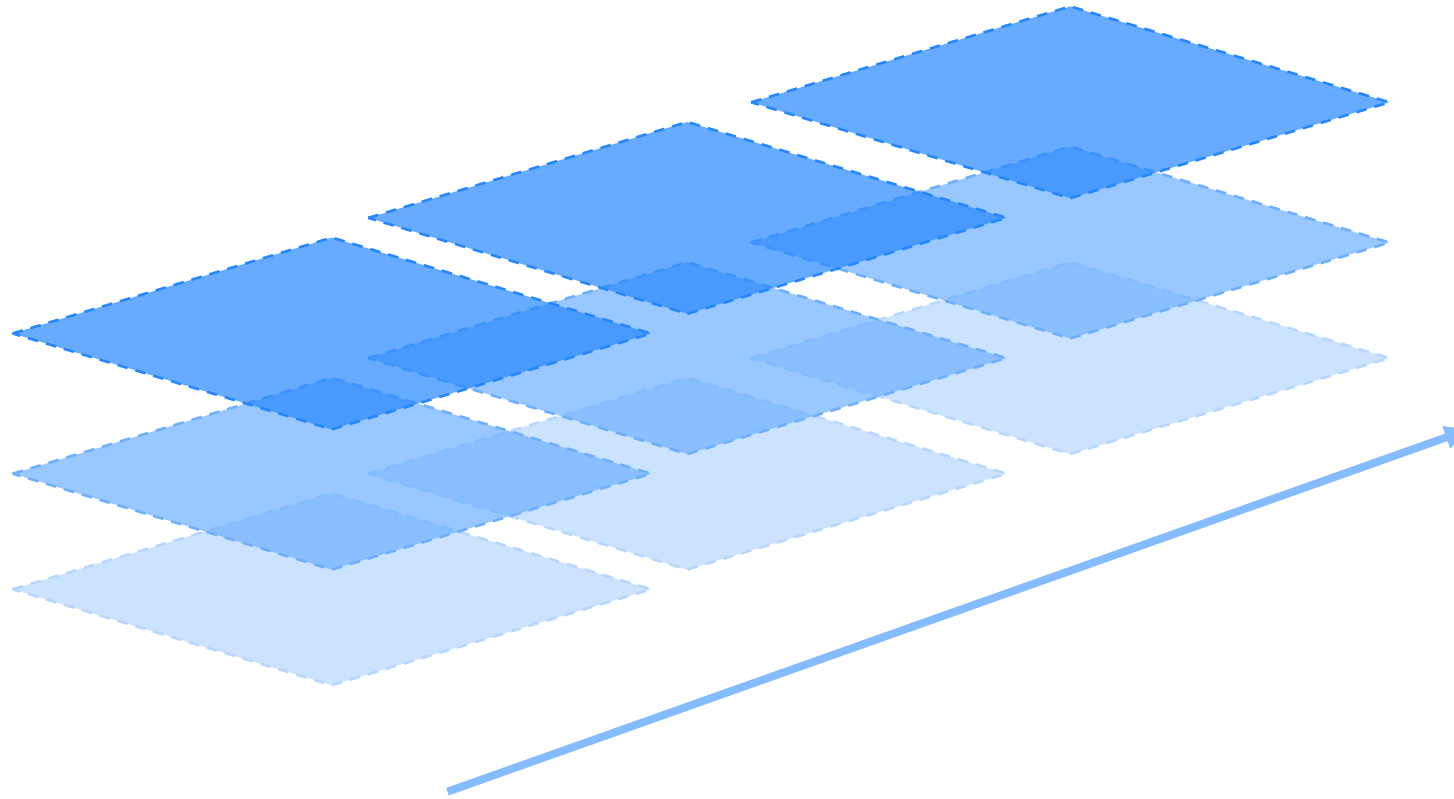
## 平面で捉えた要素を深堀していきましょう

- 通信経路を深堀すると…



稼働後のフェーズを考慮しましょう

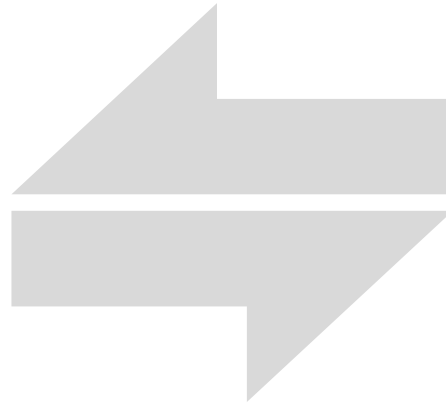
---



将来的にデータ連携の開発や運用をどうしていきたいですか？

アウトソーシング

運用・保守や実開発はベンダに任せて、社員は新規開発企画などのより経営を意識した業務を行う。

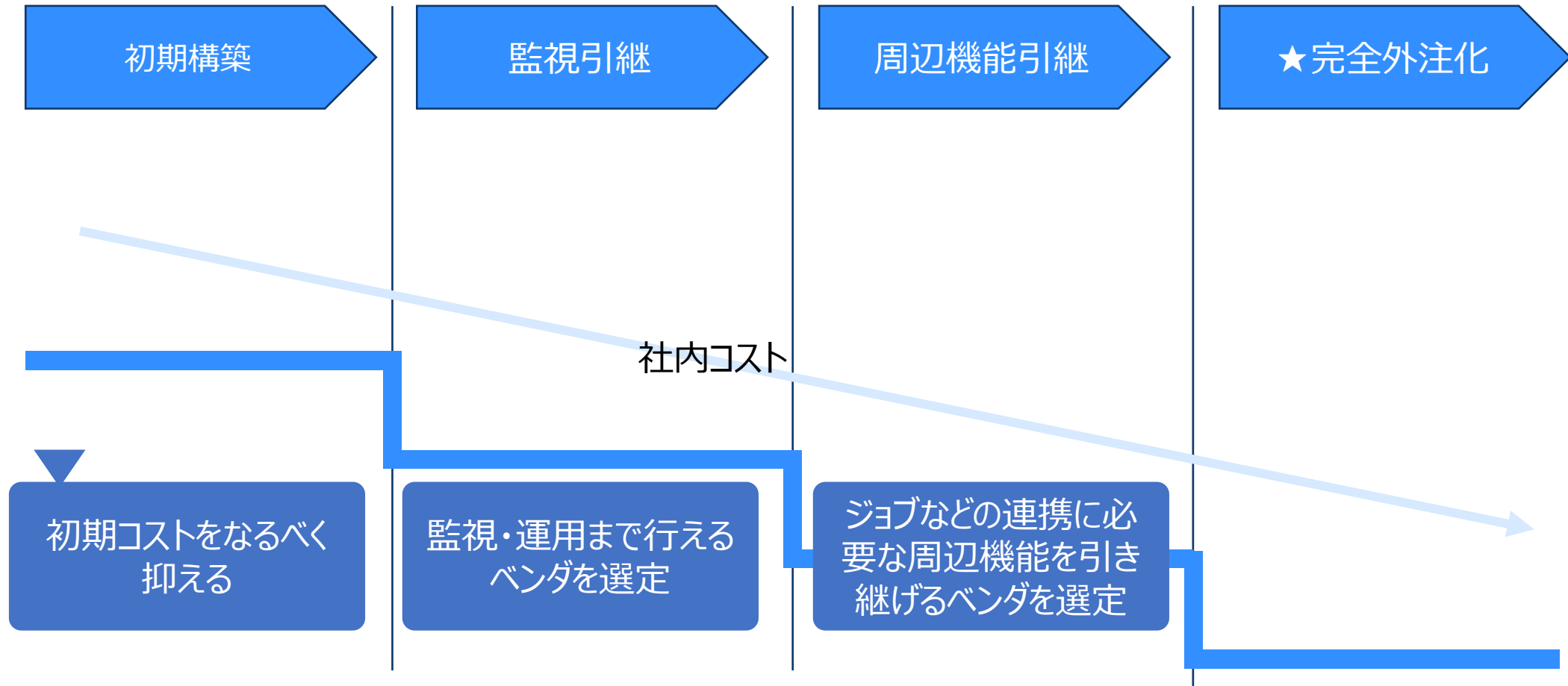


インソーシング

可能な限り内製化して、システムにかかるコストを下げる。

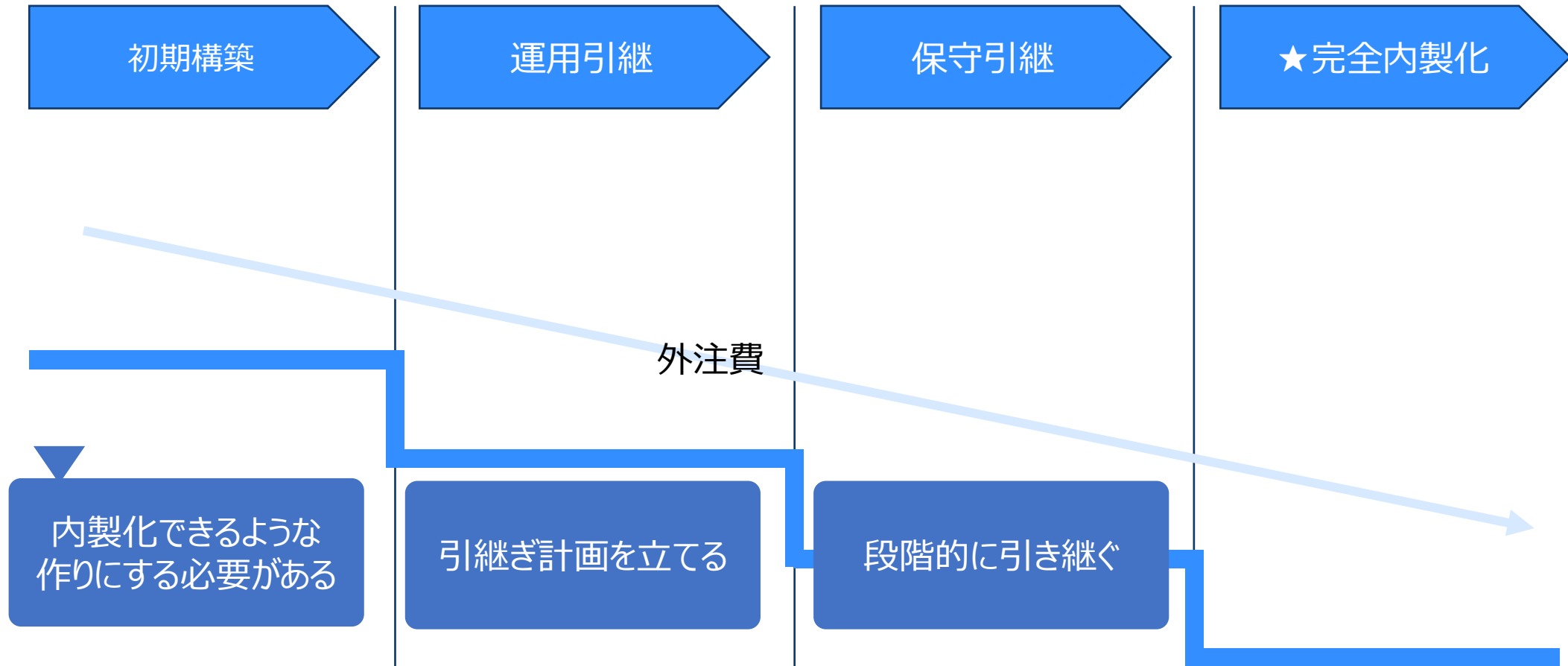
## 計画段階から稼働後のフェーズを意識しましょう

- 完全外注を目指す場合…



## 計画段階から稼働後のフェーズを意識しましょう

- 前ページとは逆に、段階的に自社での対応領域を増やし、内製化でコスト削減を目指す場合…



# プロジェクト中によくあるトラブルと対策

01

データ連携の編集仕様（マッピング仕様）設計がスケジュール通りに終わらない！



設計を2STEPに分けてスケジュールを定めましょう  
基幹システムの設計期間と並行して1から設計を行うと、基幹システム側の要件定義内容と矛盾が起き、手戻りが発生するリスクが高くなります

## 要件定義Ph

- キー項目
- データ構造  
(縦持,横持の相違)
- 差分連携・全件連携

## 基本設計Ph

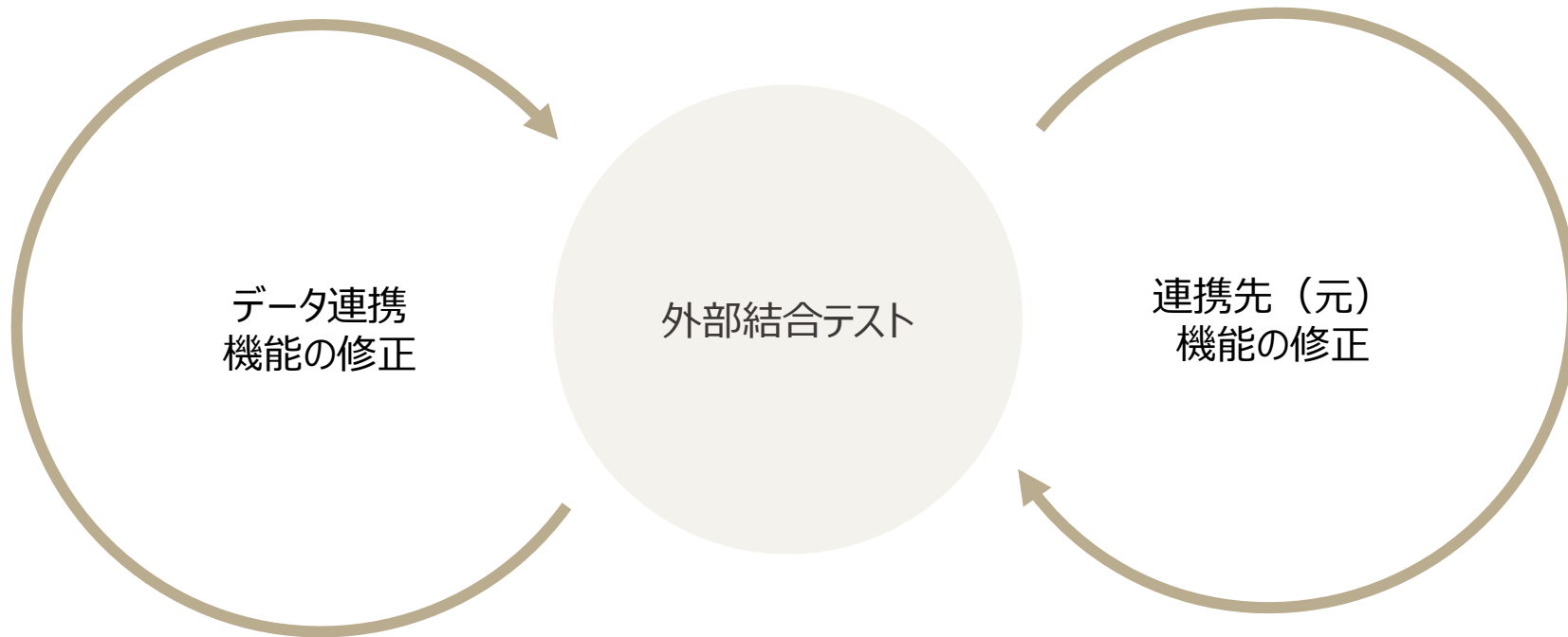
- 全項目
- 変換の必要性

02

外部結合テストがスケジュール通りに終わらない！



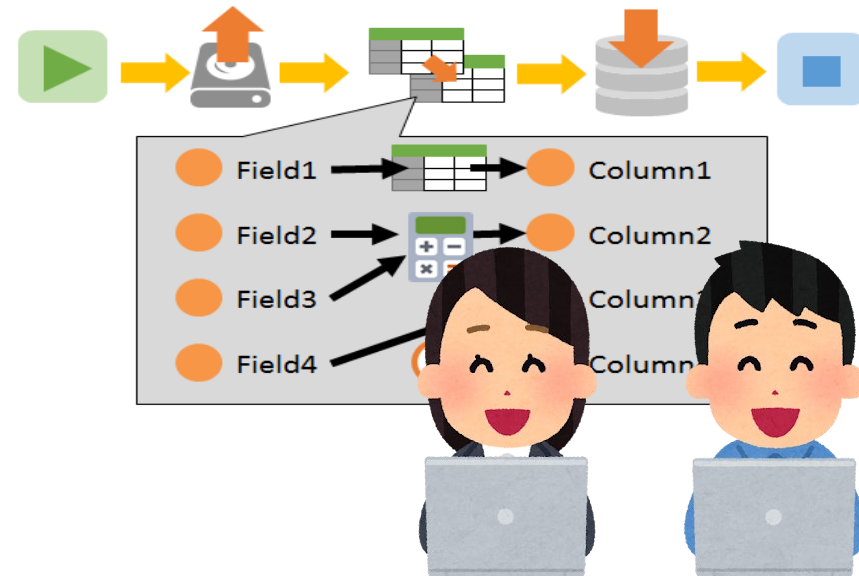
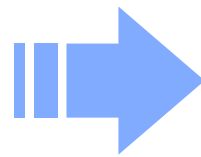
- 3回/1IF程度は「テスト実施」⇔「修正」のサイクルがあるものと思って計画しましょう
- ファイル連携などの場合は、外部結合テスト前にプレテストを実施しましょう



03

内製化を目指していたのに蓋を開けると難しくベンダから引き継げない！  
or 何とか引き継いだけどテクニカルすぎて属人化してしまった！

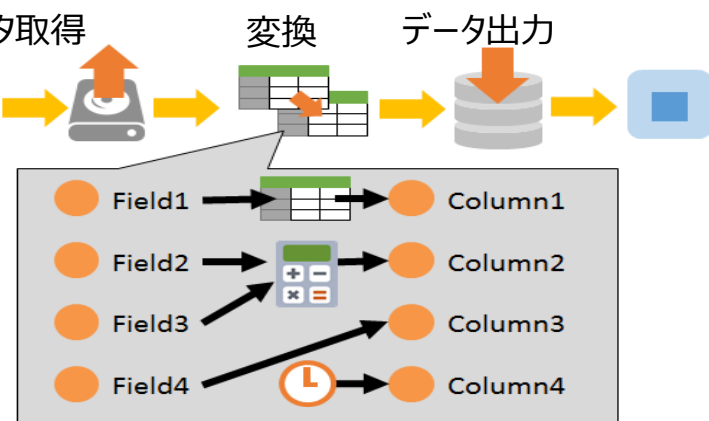
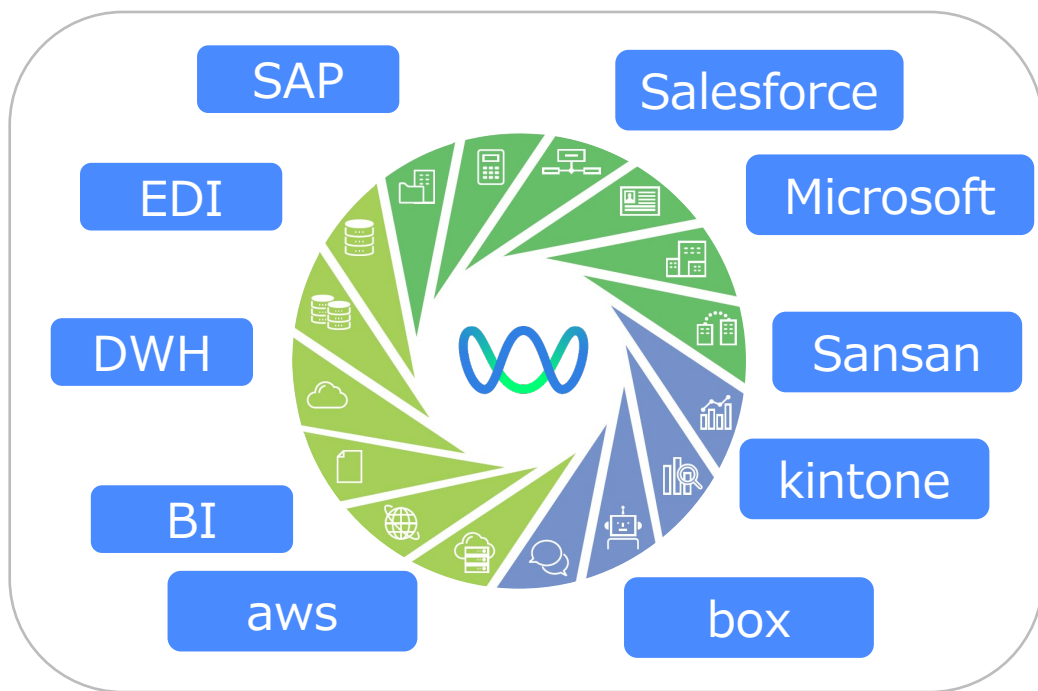
- ・ 「ノーコード」or「ローコード」ツールを活用しましょう
- ・ テンプレート化を意識した設計にしましょう



ノーコードで設計開発を行うことで、様々なシステムやサービスと連携し、業務の効率化やデータの活用を実現するデータ連携ツール

100以上のサービスやシステムと迅速に連携

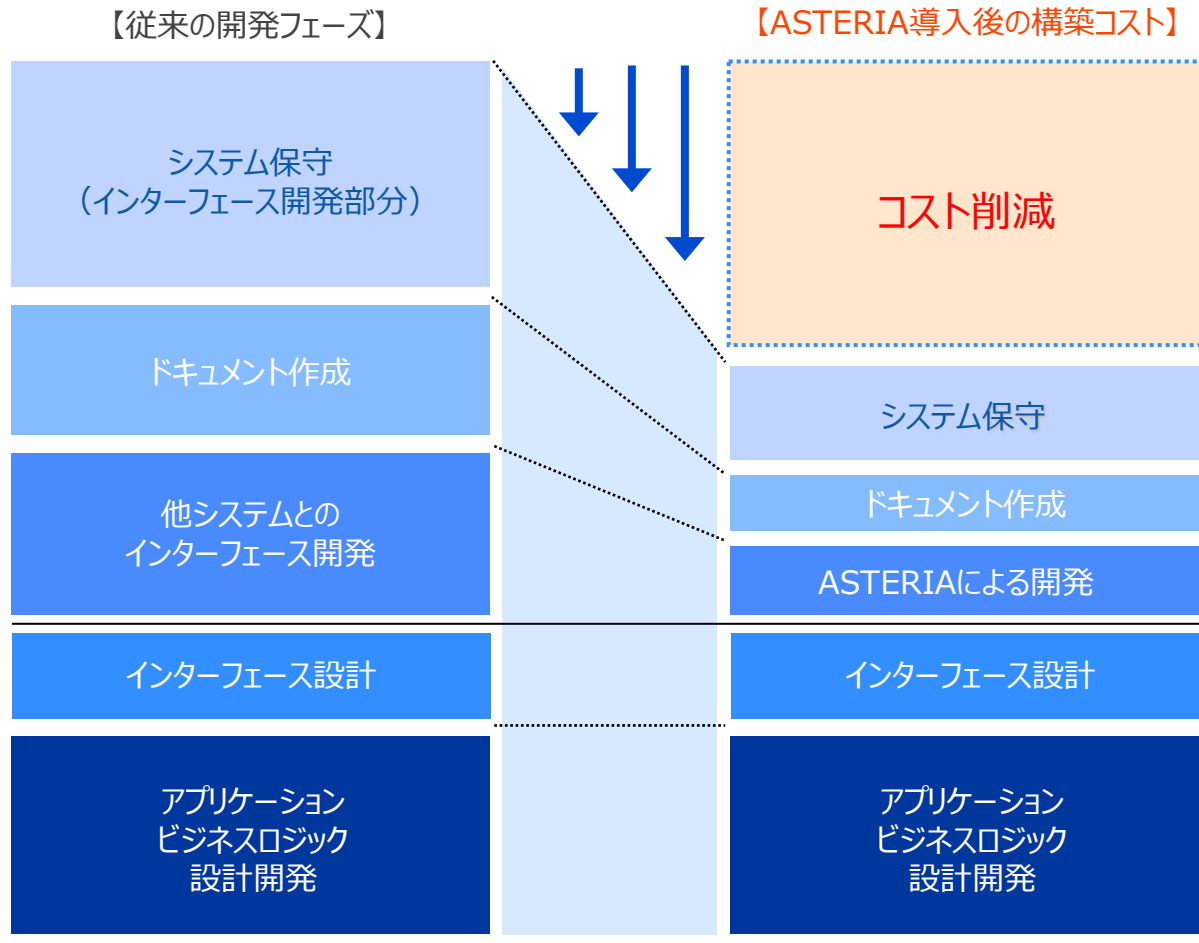
シンプルな操作で超高速開発



アイコンを並べて  
ノーコードで  
データ連携を定義します

# ノーコード開発による導入のメリット

## 「工数の大幅削減」、「属人化の防止」



	√ * ⑩水	√ * ⑩水
呉	☎ 暫 ■ 十 岬 吭 ☎ 十 岬 □ 姜 十 岬 □	② ☎ ✂ □ ● ☎ ● □
△ * ↑	☎ 50% ☎ 十 姜 _ ( ☎ )	☎ ■ □ ☎ 岬 ☎ ☎ ☎ ☎ ☎ ☎ ☎ ☎ ☎ 十月 ① ⑤月 ☎ ☎ 岬
些	☎ 十 岬 目会 岬	○ □ mb □ ☎ □ 岬

# パナソニック デジタルの連携における取組



# パナソニック デジタルの取組

サービスをつなぐASTERIA Warp +  
パナソニック デジタルの独自のEAIサービスにより  
お客様のデータ連携を支援しております

## パナソニック デジタル



- ① **独自テンプレート/標準ドキュメント**により開発期間の短縮
- ② **豊富な支援メニュー**により**お客様の内製化も合わせて支援**
- ③ **実績・ノウハウがあるSE**にて導入・開発・運用各フェーズでアドバイス

テンプレ活用により開発標準化・効率化・短期化を実現

## 各種テンプレ活用開発

- ✓ 主要なシステムとは送受信まで含めたI/F連携テンプレを活用
- ✓ 共通機能、データ授受の連携パターン毎に体系化  
インターフェーステンプレ/ドキュメントテンプレ/ベーステンプレ/運用機能テンプレ
- ✓ 体系化された管理ドキュメント類の雛形を活用

開発工数 : 50%減

開発リードタイム : 30%減を実現

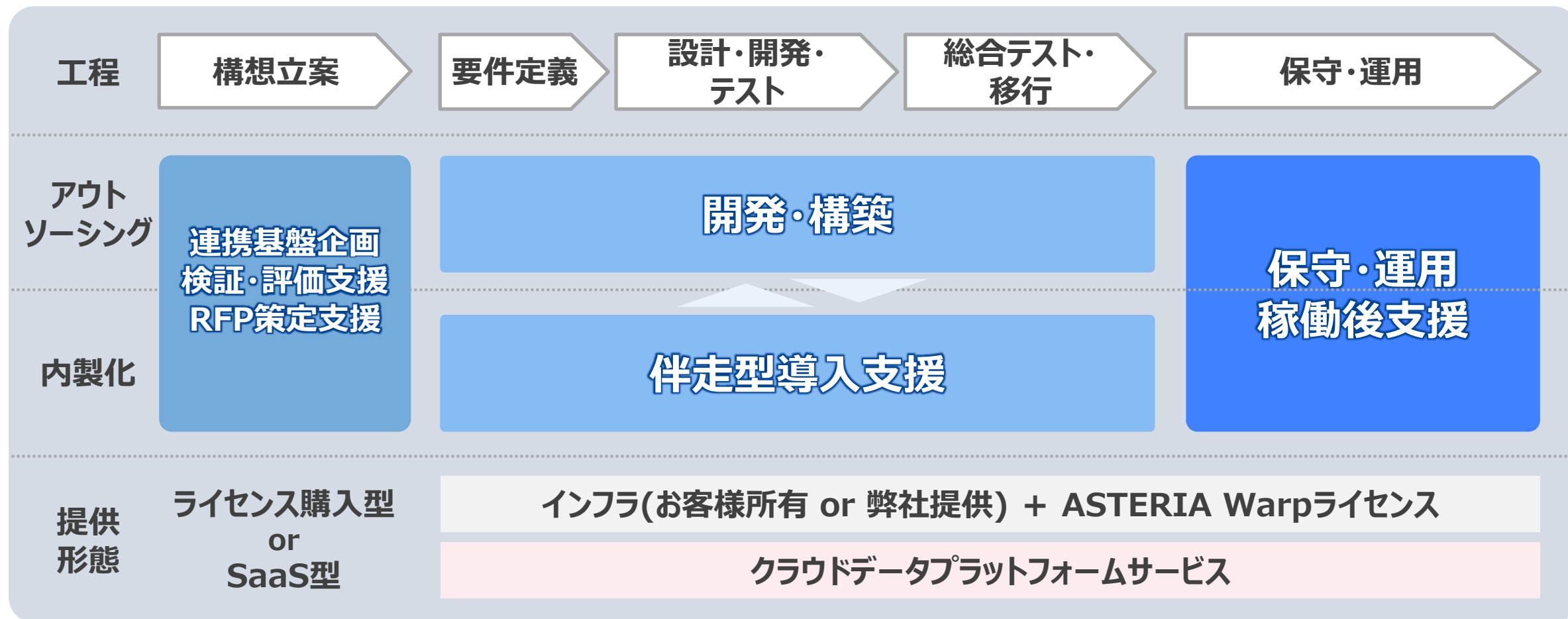
### ■従来の開発



### ■テンプレ開発



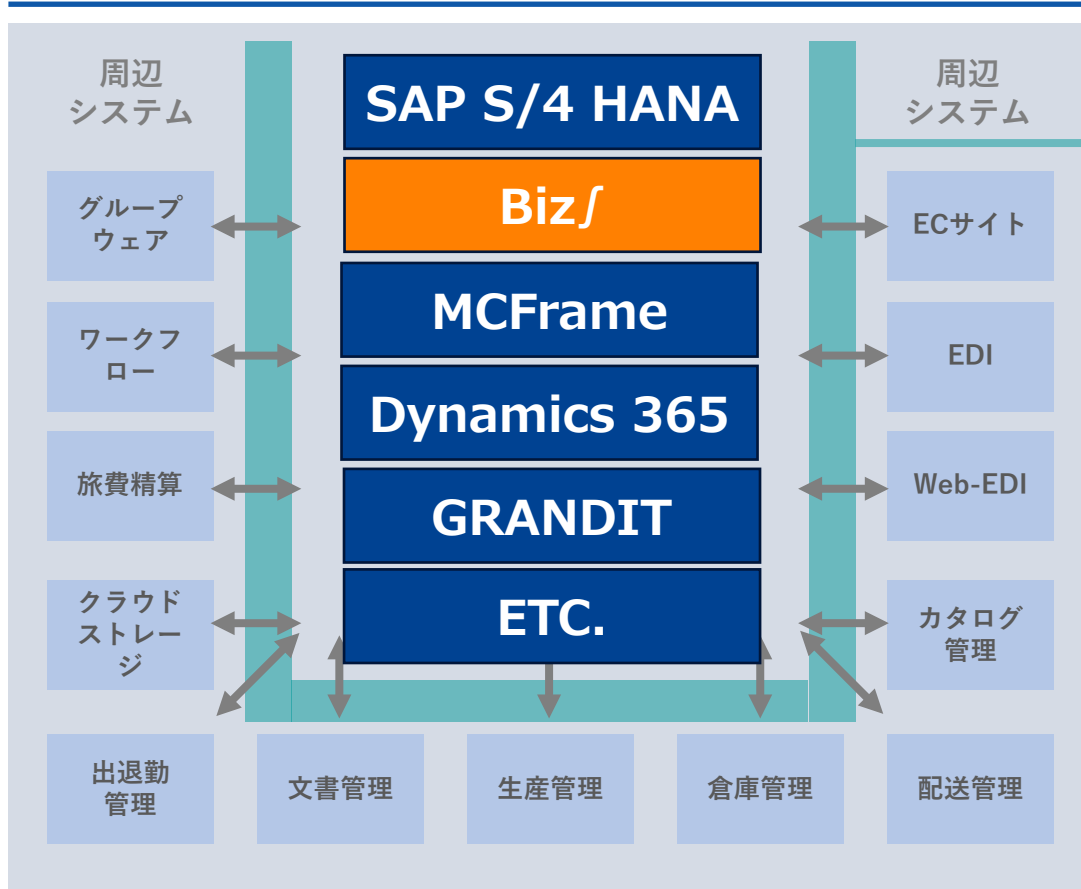
弊社ASTERIA Warpの**専任のSE部隊**により、  
**上流～導入～運用・保守、内製化の支援**までを実施






# 様々なERPと連携した実績



## 連携のスペシャリストとして各種ERPとの連携実績も多数



-  アダプターを利用しての開発  
アダプターの特性を理解し開発を実施
-  弊社独自テンプレート/標準ドキュメントにより  
開発期間を短縮
-  マスターパートナー20年の実績・ノウハウをもつSEが  
導入・開発・運用の各フェーズで参入  
各種ベンダーとの窓口にも対応

**ご清聴ありがとうございました。**

**Panasonic**